

保護者 各位

学校評価(後期)の調査協力のお礼と結果について

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと推察申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご支援とご協力をいただき、心より感謝しております。

さて、2学期末に学校評価についてご協力をいただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

◎調査結果は、肯定的評価（選択肢①②）の割合を示してあります。

◎評価の項目は、保護者・生徒が両方も85%以上がA、どちらかがそれに満たないものはBとなります。

学校評価の結果を真摯に受けとめ、3学期及び来年度に向けて、よりよい教育活動ができるように改善していきたいと思っております。

番号	評価の内容		調査結果(%)		評価	調査結果(%)		評価
			(前期)	(後期)		(前期)	(後期)	
1 学校と家庭の連携	1	保護者への情報提供 学校は、学校の教育活動や子どもの様子を分かりやすく伝えている。	保護者	97	A	保護者	96	A
	(ふり返り) ・学校ブログや一斉メール、学校通信、学年通信等を通して情報をお伝えしています。また学校ウェブサイトからいつでもご覧いただけます。 ・保護者の方に通知を必ず渡すよう、生徒への声がけ指導を繰り返し行っていきます。 ※ご家庭でもメールの確認や定期的なブログへのアクセス、また提出物の確認をお願いします。							
	2	連携のための環境作り 授業参観や資源回収、合唱コンクールなどに進んで参加している。 地域の行事やボランティア活動に進んで参加している。	保護者	93	B	保護者	89	B
			生徒	41		生徒	43	
(ふり返り) ・2学期はインフルエンザ流行による学級閉鎖などもありましたが、計画していた行事については感染症対策をしながら概ね取り行うことができました。まだまだ予断を許さない状況ではありますが、今後も各場面で生徒が主体的に活躍できる場をできる限り作っていきたくと考えています。								
2 教育課程・学習指導	3	保護者・生徒への対応 学校は、子どものことで連絡や相談がしやすい。	保護者	92	A	保護者	88	A
	(ふり返り) ・お子さんについての相談は担任が受けることが多いのが現状ですが、その他の教職員にも気軽に相談できるようにしてほしいのご指摘もありました。部活や学校行事など、あらゆる機会です話しやすい学校にすることで、家庭とも連絡を密に取りながら連携を図っていきたくと考えています。 ※ご家庭でも何か困ったことがあれば小さなことでも構いませんので遠慮なくご連絡ください。							
	4	分かる授業 お子さんは、「授業が分かりやすい」、「授業が楽しい」と言っている。 授業で「わかった」「できた」と感じている。	保護者	71	B	保護者	67	B
生徒			79	生徒		81		
5	表現力 授業で自分の考えを伝えたり、友だちと話し合いができる。	生徒	84	B	生徒	85	A	
6	基礎・基本の定着 お子さんは、家庭で自主的に学習や読書をしている。 家でも自分から勉強や読書をしている。	保護者	69	B	保護者	73	B	
		生徒	65		生徒	67		
(ふり返り) ・学習面については、学年や生徒・保護者でばらつきが見られました。その中でも「授業がわかる」割合が学年を追うごとに低下していること、そして2学年の家庭でお子さんが「授業がわかる」と言っている割合が低いことがわかりました。受験に向かって行くにつれて勉強がわからなくなるという事態を避けるため、校内研修等で、教員も授業改善を行いながら毎日の授業をわかりやすいものにしていきます。 ・木崎中では、授業を通して生徒が「自ら考え、進んで表現できる」よう考える場面や考えを言い合う場面のある授業づくりをしています。まだ15%ほどがその実感を味わえない現状ですので、3学期以降も引き続き実践していきます。 ・家庭学習については、学年が上がるにつれ、行っている生徒やそれを認識している保護者が多くなっています。受験に向けて意識が高まっていると考えられます。								